草苑保育専門学校 2023 年度 教育課程編成委員会 第 2 回 議事録

日　時：2024 年 3 月 5 日(火)15:00～17:00
場　所：草苑保育専門学校 大会議室
出席者：森田 陽子　　日本女子体育大学体育学部子ども運動学科教授／日本幼児体育学会理事 ①
　　森 文稔　　社会福祉法人さきたま会　薫る風・上原こども園　総括責任 ③
　　阿江 美知代　　教育課程編成責任者／草苑保育専門学校校長／草苑学園理事
　　竹原 有基　　草苑保育専門学校 教務部長
　　浅井 忍　　草苑保育専門学校 専任講師／就職支援センター長
　　徳田 多佳子　　草苑保育専門学校講師 ②
※企業等委員種別：①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員
②学会や学術機関等の有識者
③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員
司　会：竹原
記録者：浅井

1. 議事と議論の要旨

第一部：報告
1. 資料報告
2. 2023 年度第 1 回議事録確認
3. 2024 年度についての報告

（1）ゼミの導入について
「保育・教職実践演習Ⅱ」でゼミ制を取り入れる。2 年生（本科生）を 10 前後のゼミに分け、専任講師が講師を務め、それぞれの専門性を活かした、少人数だからこそできるものを考えている。
その柱の一つが地域連携で、IKE・Biz としま産業振興プラザの館長と協働し、児童館にある乳幼児の交流広場等で保育実践をする。また近隣の保育所で協力し、誕生会の出し物をする等、外へ出かけていく形での演習を入れていく。さらに、従来から行っているオレンジリボンの活動も継続し、地域で活性化していきたい。
委員の意見：教職実践演習のゼミに活かせる現場を探すのは大変だから、IKE・Biz からの依頼があるなら、他のものも受け入れていくのがいいのではないか。

（2）保育士コースと他資格について

2025 年度より保育士コースを立ち上げる。現在の幼稚園教員・保育士養成コースより科目数をぐっと絞り、保育士に特化したコースを目指すが、コースとしての魅力を検討したい。これについて、以下のような意見が挙がった。

・おもちゃ診断士が取得できる短期大学等もある。草苑もプラスαの目玉の資格がないと、今後の募集活動が厳しいのではないか。
・資格を持つとどんなプラスがあるかを説明していかないとならない。現場では、（就職の際などに）意欲の表れとは取るが、それがどこまでのものかは園によって異なる。
・世界陸連の指導者資格、保育英検等々、出口を見たときに、プラスαの武器になると入学時から伝えている。自身にも繋がっているはず。保育英検の上級では折り紙の折り方を英語で説明する、実用的なものでもある。草苑で打ち出せる資格がほかにあれば、検討するのはおおいに役立つのではないか。
・社会福祉主事任用資格はどうか。
→学校教育法に定める大学（短期大学を含む）において、指定科目を履修して卒業した場合であり、専門学校は含まれないとされており、取得できない。
・ハードルが高いが、学校としては認定絵本士も考え中。
・図書委員を作り、学生がアピールする場所にしたい。

（3）「こども家庭ソーシャルワーカー」資格の研修

こども家庭庁所管の、実務者向けの新資格。社会福祉士、精神保健福祉士を持っている方がメインターゲットだが、保育士でも相談援助業務に数年携わっていれば資格要件を満たす。科目や講師の要件を見ると、本校でも可能な条件が並ぶ。まだ詳細が不明だが、再来年以降に実現に向けて検討を進めたい。

（4）ペーパーレス化について

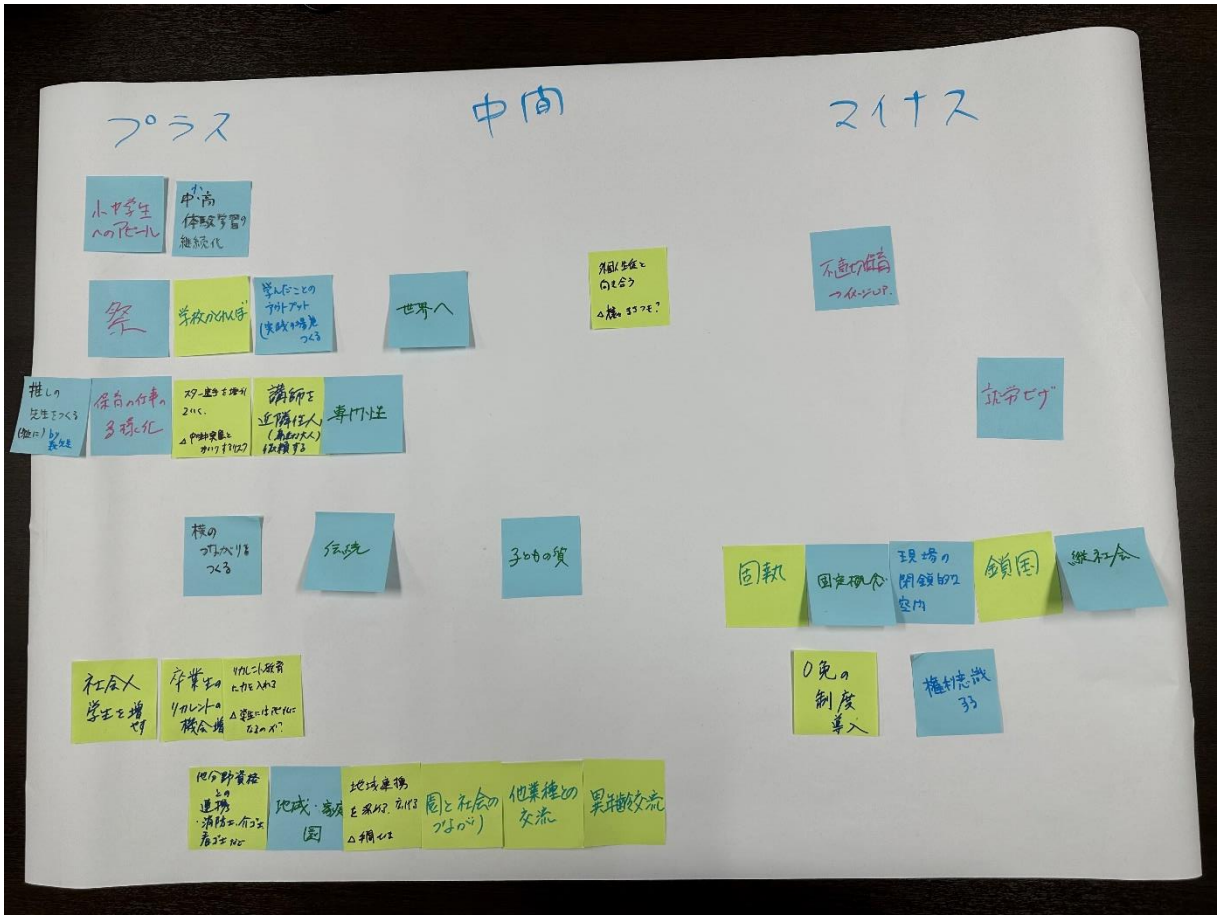
実習について、施設等と紙ベースでのやりとりを行っているが、近い未来にメールでのやり取りに変えていきたい。ICT 化／ペーパーレス化が進んでいる園と止まっている園がある。学校としては検討を進めたい。これについて、以下のような意見が挙がった。

・時代や社会がそうなってきているため、学校で指定するなら受け入れられていくのではないか。ただし、日誌等のすべてにおいて“コピペ”が当たり前になってしまうことを懸念。
・ネット申請できるように、次年度から変更する予定。
・文科省の方向性は、ペーパーレス化。通知書類もオンラインで送られてくるのが当たり前になった。

第二部：保育業界活性化についての検討
前提：少子高齢化、外国籍のこども　リカレント教育、学び直し＝社会人向け、ニーズの取り込み　働く人でスター保育士を作る＝安易だが推し活の先生　村社会が過ぎる＝押しあげが必要

ＫＪ法で検討を行った（次ページ写真参照）。
・真面目、つまらないという教育のイメージ　祭り感
・就労ビザ　外国人が入るときの（保育士として就労ビザが取れない問題）
・小中学生へのアピール
・生涯学習、社会人学習、通信教育＝０免許制度　人口が多いところ
・リカレント
・他業種交流、連携の必要性
・体験学習の影響　日にちを増やして欲しい　もっと保育を知って欲しい。
・ボランティアの機会、イベント等　接点を増やす
・小中学生向けのオープンキャンパス
・園同士の交流
・学びのアウトプットの場所
・現場が閉鎖的　言えない、権利意識が弱い、傍観者ではない
・縦社会、固定概念をなくす　伝統のなかに社会も大切　プラスにいくといい
　体育の視点、運動は大切なこと　こうでなければならないが園に多い
・世界へ誇れるところも
・保育士の質をあげる、言語の学びを進める
・専門性は何かと考え現場にでる
・子どもの質　地域、家庭、園
・外国人が増える可能性がある
・アピール、スター選手、みんなの認め合い、次世代の若い人の押しあげ、若者には重鎮しか見えない　足を引っ張る人もいる
・実際との乖離

総合
・どんどん外へ、学校の知名度
・マイナス面からのプラス面へ
・人気があがるところは知名度と経営



（写真：キーワードとグルーピング）

2. 次回予定：2024 年 9 月 10 日(火)15:00～17:00
　場所：草苑保育専門学校大会議室

3. 閉会